

《ワシミミズク》

作 家 ブルーノ・リリエフォッシュ

制作年 1905年

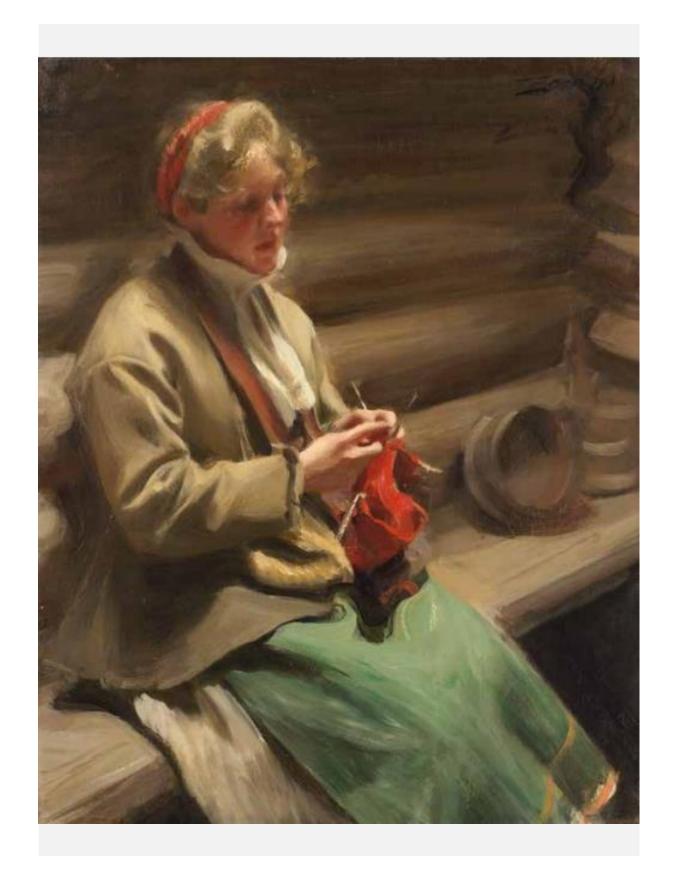
技 法 油彩・カンヴァス

所 蔵 スウェーデン国立美術館

スウェーデンの国民的画家ブルーノ・リリエフォッシュ(1860 -1939)は、動物画家として評価されている。キツネが狩りをする場面など、自然に生きる動物たちの姿を、臨場感を持って描いた。

本作に描かれているのは、ワシミミズクが一匹だけだが、鋭い目がまっすぐこちらに向いていて、目の前に本当にいるかのような感覚になる。リリエフォッシュは、パリ郊外の町グレー=シュル=ロワンで、世界各地から集まった画家たちと盛んに交流。日本美術からも影響を受けたと言われている。





《コール・マルギット》

作 家 アンデシュ・ソーン

制作年 1901年

技 法 油彩・カンヴァス

所 蔵 スウェーデン国立美術館

社会と都市生活を描く画家として出発したアンデシュ・ソーン (1860-1920)は、やがて故郷スウェーデンのダーラナ地方の 題材に関心をよせるようになる。この作品にみられるように、 編み物をする若い女性など、日常生活の風景を描くことが多い。 スウェーデンの国民的な画家ソーンは、印象派の画家として知られているが、編み物や読書をする人は印象派の画家たちの間で人気のテーマでもあった。本作は 20 世紀のスウェーデンで 最も有名で最も多く複製された絵画のひとつとしても知られる

